

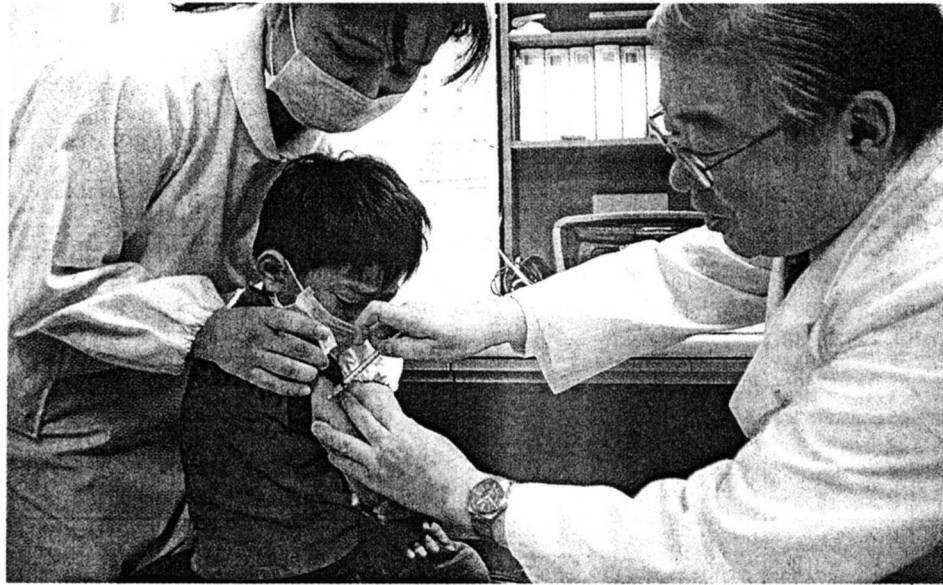
予約電話パンク、使い勝手悪い容器…

ワクチン混乱

中日 11/20

新型インフルエンザのワクチン接種で、一日も早い接種を望む市民や医療機関の間で混乱が続いている。接種予約の電話が殺到して回線がパンクしたり、大容量のワクチンを無駄なく使い切るのに苦労する医療機関も。専門家は「ワクチンにこだわり過ぎないで」と冷静な対応を呼びかけている。

新型インフル



基礎疾患があるため、新型ワクチンの優先接種を受ける男児。19日、名古屋市内の病院で。

愛知県で健康な一歳〜ら多くの世代で一回に減小学三年からの予約受け付け、同省は日程前倒しをけが始まった十八日、名古屋府県に三度要請し鉄病院(名古屋西區)た。妊婦ら優先接種の順は受け付け開始直後か番に合せて日程を細から、十二回線の電話が鳴く設定していた都道府県りっ放し。電話がつかない再調整を余儀なくされりにくいことに、何人もた。

「院長を出せ」と怒りだ一方、現場の医療機した。十二月七〜十日分関にはなかなかワクチンの健康な小児向け百人分が届かず、「実物が届かは二時間足らずで予約がないと予約を開始できる埋まった。

同様の予約受け付けを(愛知県状況が続いた。十二日に始めた岐阜県 ワクチンの容器の大きは、午前九時すぎに電話さも、混乱を大きくしが医療機関に集中。一時た。容器は一〇ミリの的に県全域で固定電話がミリの瓶、〇・五ミリのつながりにくくなった。注射器型保存剤無添加)の三種あり、封を開ける厚生労働省の度重なる接ると二十四時間以内に使用しないといけない。

当初は原則二回接種が必要だが、臨床結果が種に必要な量は〇・五ミ

効果1~2週間後「こだわり過ぎないで」

小児は〇・二〜〇・三ミリの。つまり、一〇ミリの瓶を開封したら成人で十八人、小児なら最多で五十人近くを一気に打たないと、ワクチンが無駄になる恐れがある。

三重県四日市市の桜花台こどもクリニックでは、届いた九割が一〇ミリの瓶。「希望者が多いのに捨てるわけにいかない」(水谷健一院長)ため、予約を集中させ、ワクチンが余らないよう常にキャンセル待ちを数人確保している。

季節性ワクチンでは小児(一〜六歳)への効果は20〜30%が発熱を抑えられるだけとされる。さらにワクチンの効果が表れるのは接種から一〜二週間後。今後、新型インフルエンザのワクチンを打っても効果が出るころには流行が下火になっていく可能性もある。

インフルエンザに詳しい名古屋市長保健康所の鈴木幹三所長は「日本の死亡率は各国より低く、ワクチンにそれほどこだわる必要はない。栄養や睡眠を取ってうがいや手洗い、換気をするなどほか話している。」